一般社団法人 日本カンボジア協会

2026

NEWS LETTER

JUNE 6

【開催報告】第13回定期総会および懇親会の御礼と新体制について

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

去る2026年6月24日、東京の在日カンボジア王国大使館において「日本・カンボジア協会（JCA）第13回定期総会および懇親会」を開催し、2026年度の総会も無事に終了いたしましたことをここにご報告申し上げます。当日は多くの会員や関係者の皆様にご出席いただき、大使館職員の皆様とともに、両国の緊密な友好関係と長年にわたる協力関係を改めて確認する大変有意義な機会となりました。

歓迎の挨拶の中で、駐日カンボジア王国特命全権大使のチュム・スンリー閣下からは、両国の「包括的戦略的パートナーシップ」に基づく関係進展への強いコミットメントと、当協会および会員の皆様へ心からの謝意が表明されました。カンボジア側からも、私たちの活動が両国の架け橋として高く評価されていることを実感する総会となりました。

当協会は、2026年をこれまでの計画を具体化する「実装の時期」と位置づけ、しっかりと取り組んでいく所存です。具体的には、「JCA 2026戦略」として以下の3本の戦略的柱を掲げ、実践的な連携を進めてまいります。

1. 職業訓練（人材育成）
2. 農産業関連産業（付加価値加工）
3. デジタル産業（デジタル・インフラ）

また、これに伴い本年度より以下の通り新体制へと移行いたしました。

長年にわたり事務局長（1期5年）を務められた加藤和則常務理事が任期を終え、新たに田中圭介常務理事が事務局長に就任いたしました。さらに、上記3本の柱に沿った会員企業の進出案件が順調に増加していることから、体制強化のため吉村和浩理事が新たに常務理事に就任いたしました。

役員人事におきましては、長年にわたり理事、監事として多大なるご尽力とご支援を賜りました佐藤監事が今総会をもって退任され、新たに浅見摩紀氏が監事に就任いたしました。佐藤監事のこれまでの多大なご貢献に心より感謝申し上げます。また、事務局の新職員として佐藤渚さんも加わり、新体制のもとで会員の皆様のサポートに万全を期してまいります。

新体制となった日本・カンボジア協会を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

カンボジア商業省訪日団に同行して

このたび、日本カンボジア協会の現地担当理事として、カンボジア商業省訪日団の皆様に同行する機会をいただきました。

今回の訪日の大きな目的は、2026年6月26日に東京・ASEAN-Japan Centreで開催された「Cambodia-Japan Business Matching Event for Digital Trade Development」への参加です。本イベントは、CambodiaTrade.comを活用したカンボジア産品の海外展開をテーマに、日本とカンボジアの企業・団体・関係機関が一堂に会するビジネスマッチングイベントとして開催されました。

イベントに先立ち、訪日団の皆様は東京都内のアンテナショップを視察しました。各地域が特産品をどのようにブランド化し、観光や地域の魅力と結び付けながら販売しているのかを学び、カンボジア産品の今後の展開に向けた多くのヒントを得ることができました。

翌日に開催されたビジネスマッチングイベントには、30名を超える企業・団体・個人の皆様が参加され、あいにくの雨にもかかわらず会場は大変盛況となりました。

イベントでは、CambodiaTrade.comを実際に利用して商品を購入するデモンストレーションも行われ、多くの参加者がその場でカンボジア産品を購入されました。実際にサイトを利用しながら商品の魅力を体験していただくことで、日本市場におけるカンボジア産品への関心の高さを感じることができました。

また、プログラム後半のビジネスマッチング・ネットワーキングでは、日本企業や関係団体の皆様がカンボジア商業省の皆様と積極的に意見交換を行い、商品開発や販路拡大、今後の協力体制について熱心な議論が交わされていました。国境を越えた新たなビジネスの可能性が数多く生まれる場となったことが、大変印象に残っています。

私自身も今回同行させていただき、多くの学びと貴重なご縁をいただきました。日本カンボジア協会としても、今回築かれたつながりを大切にしながら、両国の経済交流や民間レベルでの協力関係がさらに発展していくよう、引き続き現地から活動を続けてまいります。

カンボジア事務所　久保田光広

カンボジア出張レポート ～会員企業様の活躍をご紹介～

6月下旬にカンボジアへ出張する機会があり、現地でご活躍されている日本カンボジア協会会員企業様のもとを訪問させていただきました。会員様の取り組みをご紹介させていただきます。

まずご紹介するのは、KAKEHASHI INTERNATIONAL & BUSINESS CO., LTD. 様です。
同社は、カンボジア労働・職業訓練省（MLVT）の認定を受けた技能実習生送り出し機関として、日本での就労を目指す人材の育成に取り組まれています。面接前から日本語教育を実施し、日本での生活に必要な生活指導や日本文化の習得、そして健康診断など、きめ細やかなサポート体制が整えられています。また、プノンペン、シェムリアップ、そして日本にもサポートセンターを設置し、安心して日本で活躍できる環境づくりに尽力されています。
日本とカンボジアの「架け橋」として、今後ますますのご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

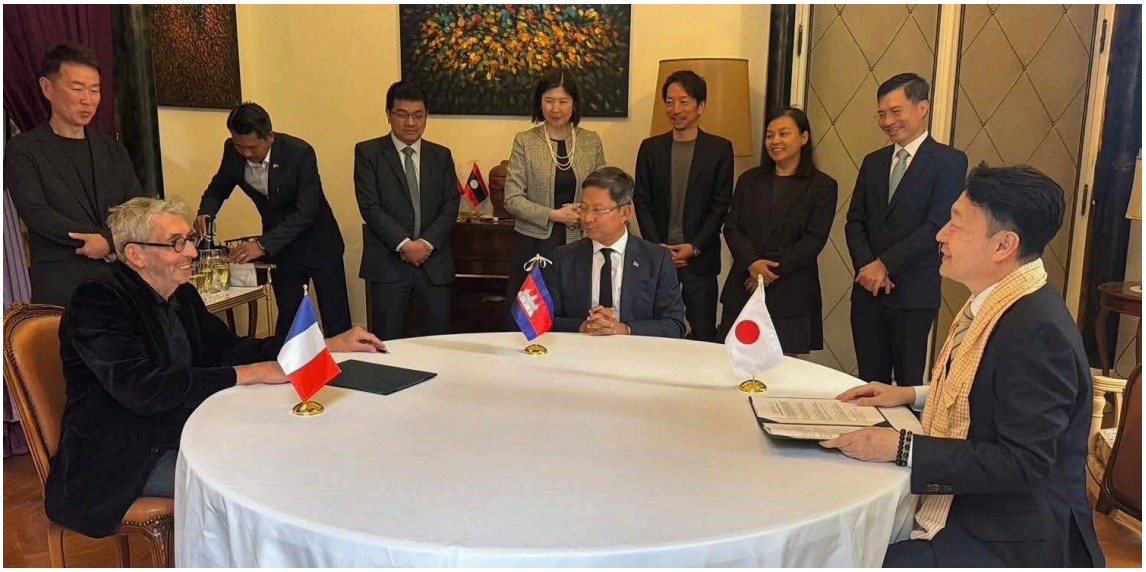
続いてご紹介させていただきますのは、株式会社イルヴリール様がカンボジアで展開されている美容エステ事業です。
同社は、カンボジア労働・職業訓練省（MLVT）傘下の国立起業家イノベーション研究所（NIEI）で開講されており、現地女性の技術習得と就業支援に大きく貢献されています。
今回は、そのスクールを卒業されたスタッフの皆様が活躍されているエステサロンを訪問させていただきました。日本式のおもてなしを大切にした細やかな接客はもちろん、一人ひとりの肌質に合わせた丁寧なカウンセリング、高品質なハンド技術と美容機器を組み合わせた施術など、非常に満足度の高いサービスを体験することができました。
カンボジアを訪れる日本人の皆様はもちろん、現地にお住まいの方々にも自信を持っておすすめできる素晴らしいサロンです。

日本カンボジア協会では、このような国外で活躍される会員企業様の活動も積極的に応援しております。今後のさらなるご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。
文責　浅見摩紀

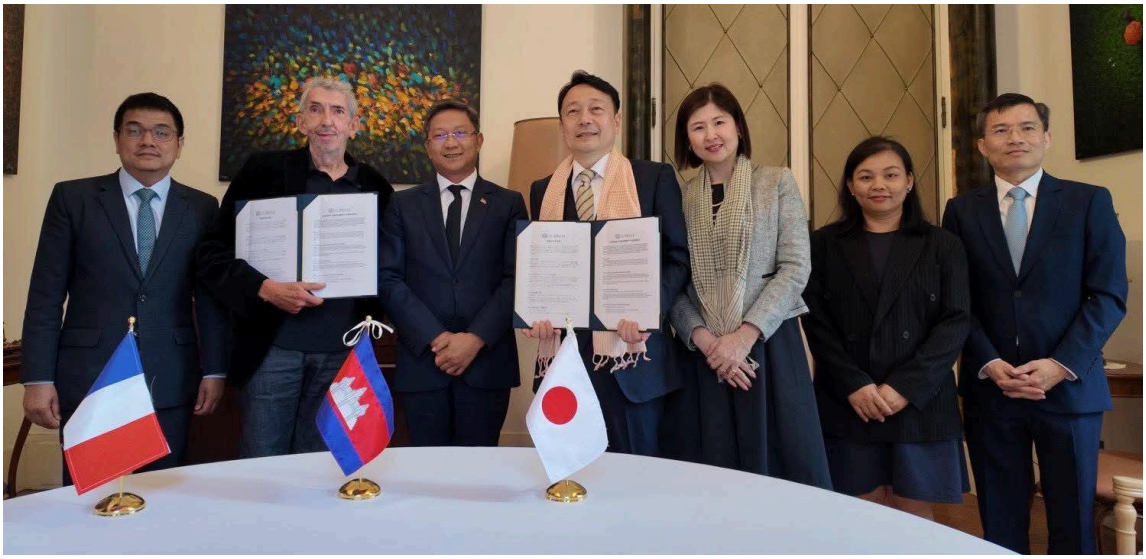
JCA会員活動

JCAプラットフォームが拓く未来――L‘ARC D‘ORプロジェクトの新たな船出
株式会社イル・ヴリール

この度、David Luy駐仏カンボジア大使公邸において、日本でも広く知られるフランス人ファッションデザイナー、ミッシェル・クラン氏とのクリエイティブディレクター契約を無事に締結いたしました。
本プロジェクト「L‘ARC D‘OR（ラルクドール）」は、伝統あるカンボジア産ゴールデンシルクの価値を世界へと発信し、まずは大きな可能性を秘めた中東マーケットへの進出を目指すものです。



振り返れば、2013年から地道に取り組んできた「ゴールデンシルクプロジェクト」が、今日こうして世界的なデザイナーを巻き込む一大プロジェクトへと進化を遂げることができたのは、決して弊社単独の力によるものではありません。
これまでの歩みはすべて、JCAという強固な組織のバックアップと、高橋会長が築き上げてこられた信頼とネットワーク、それに加えて「JCAとしての活動」が結実した結果にほかなりません。株式会社イル・ヴリールの代表として、心より深く感謝申し上げます。
しかし、今回の契約締結はあくまでスタート地点に立ったに過ぎません。ここからの具体的な推進には、JCAの力に甘んじることなく、弊社が「個」としての努力を重ね、何としても事業を成し遂げるという不退転の「覚悟」が求められます。



カンボジアにおけるビジネスや国際事業は、決して平坦な道ではなく、容易に成功できるものではありません。しかし、JCAという比類なきプラットフォームを活用すれば、困難な道であっても確実に可能性の扉を開くことができます。
この強固な地盤を活かしつつ、自らの手で未来を切り拓く強い意志と覚悟を持って、この大いなる挑戦を続けて成果を上げて参ります。弊社の挑戦が、後に続く会員の皆様にとって一つの道標（proof）となれば幸いです。

株式会社イル・ヴリール
代表取締役　加藤和則

※事務局では会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。

新事務局スタッフのご紹介

はじめまして。
このたびご縁があり、7月から事務局員として協会のお手伝いをさせていただくことになりました、佐藤渚と申します。
2023年から、プノンペンにあるサンライズジャパン病院にて看護師として3年間勤務をしておりました。
趣味はランニングと旅行です。
新しく学ばせていただくことばかりですが、どうぞよろしくお願いいたします。

カンボジア通信

一般社団法人 日本カンボジア協会事務局
発行人：浅見摩紀
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1丁目16番6号 虎ノ門RAPO-TOビル UCF7階
問合せ先：info@japan-cambodia.or.jp
ホームページ：http://japan-cambodia.or.jp